

専門科目 社会行動科学

(専門職学位課程)

科目名	ヘルスコミュニケーション学	code number : HBS 213	選択	1 単位
-----	---------------	--------------------------	----	------

科目責任者	石川 ひろの 教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	後期(前半)	曜日・時限	水曜 1,2時限	授業方法	講義

1. 授業の概要

ヘルスコミュニケーションは、医療・公衆衛生のさまざまな場面において、個人や集団の健康を維持、向上させていくために必要な情報を共有し、その個人、集団、社会の健康にとって望ましい意思決定や行動を促していくための重要な方略である。このようなコミュニケーションは、個人間、グループ、組織、社会などさまざまなレベルで存在し、医療面接のように対面で口頭で行われる場合もあれば、電話やメールなどのパーソナルメディア、説明文書やパンフレットなどの文書、新聞・テレビのようなマスメディア、インターネットやソーシャルメディアまで多様なメディアを通じて行われている。とくに近年、健康や医療に対する社会的な意識の変化、マスメディアによる報道の増加、ICTの発達などにより、ヘルスコミュニケーションのあり方は大きく変化している。本講義では、公衆衛生専門職として、効果的なヘルスコミュニケーションを実践できるようになるための基礎的な理論と知識を学ぶ。これに基づき、公衆衛生の現場におけるヘルスコミュニケーションに関する問題に気づき、分析評価する視点と方法論を習得し、それを改善するための方策を議論する。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

1. 医療・公衆衛生におけるさまざまな場面でのヘルスコミュニケーションについて、その重要性に気づき、より効果的なコミュニケーションを行うための知識と能力を身に着ける。

【行動目標(SBO)】

1. ヘルスコミュニケーションのもつ意義と影響を説明できる。
2. さまざまな場面・目的におけるヘルスコミュニケーションの理論、方法論を説明できる。
3. ヘルスコミュニケーションを分析、評価し、改善のための方策を提案できる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)課題レポート (50%)
 - (2)講義内でのワークや課題 (30%)
 - (3)参加態度 (20%)
- 注意) 課題、レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は、原則として減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

各講義で事前の資料等を配布する。

5. 参考書

- ・石川ひろの、他 著. 人間関係論(系統看護学講座 基礎分野). 医学書院. 2018
- ・藤崎和彦、橋本英樹 編著. 医療コミュニケーション研究会 編. 医療コミュニケーション—実証研究への多面的アプローチ. 篠原出版新社. 2010
- ・Debra L. Roter & Judith A. Hall著. 石川ひろの、武田裕子 訳. 患者と医師のコミュニケーション—より良い関係作りの科学的根拠. 篠原出版新社. 2007

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・指定文献を授業出席者全員が事前に読むことを求める。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・発表やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

ヘルスコミュニケーション学

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	9/18(水)	2	石川ひろの 教授	ヘルスコミュニケーションとは ヘルスコミュニケーションの意義と役割
2	10/2(水)	1	石川ひろの 教授	ヘルスコミュニケーションの分析・評価と実証研究 質的・量的分析、相互作用分析、内容分析、リーダビリティ評価
3	10/2(水)	2	石川ひろの 教授	行動変容を促す対人コミュニケーション 対人コミュニケーションの理論、Shared decision making、説得的コミュニケーション、コーチング
4	10/16(水)	2	石川ひろの 教授	多職種連携のコミュニケーション コミュニケーションネットワーク、多様性の理解、リーダーシップ
5	10/30(水)	1	石川ひろの 教授 奥原 剛 講師(非)	健康医療情報のコミュニケーション 文書によるコミュニケーション、分かりやすさ、説得性
6	10/30(水)	2	石川ひろの 教授 奥原 剛 講師(非)	健康医療情報のコミュニケーション 行動変容を促す保健医療文書の作り方:演習
7	11/13(水)	1	石川ひろの 教授 加藤 美生 助教	メディアを通じたコミュニケーション メディアコミュニケーションの理論、テレビ、新聞、インターネット、エンターテインメント・エデュケーション
8	11/13(水)	2	石川ひろの 教授	政策形成とアドボカシーのコミュニケーション 社会へのメッセージの発信、アドボカシー